

## 外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

### 「磁場式ナビを使用した定位的穿頭血腫除去術の成績研究」への協力をお願い

当院では過去に下記のような診療を受けた患者さんの画像・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2023年6月1日～2024年6月1日の間に、脳出血のため定位的穿頭血腫除去術を受けられた患者様

研究期間：倫理委員会承認日～2024年12月31日

#### 研究目的・方法

脳出血に対する手術治療として、脳卒中ガイドラインでは血腫の大きさや部位に応じて血腫除去術が患者様の予後改善に寄与すると認められ推奨されています。血腫除去術の中でも低侵襲手術として、定位的血腫除去術、内視鏡下血腫除去術等が行われることがあり、全身麻酔と広範囲の頭蓋骨開窓を要する開頭血腫除去術と比較し患者様の負担軽減に寄与すると考えられています。当院で低侵襲手術である穿頭血腫除去術を実施した患者様の経過をもとに、定位的血腫除去術の成績を評価して今後の医学的知見を広めることを目的としています。

#### 研究に用いる試料・情報の種類

- ① 発症時の患者様の情報（年齢・性別・体重・既往歴・内服薬）
- ② 検査画像（頭部CT検査、頭部MRI検査画像）
- ③ 治療後の経過（運動麻痺等神経症状の経過、入院日数、後遺症の程度）

#### 研究への参加辞退をご希望の場合

本研究にあたって患者様に追加の検査や投薬などの実施はありません。研究において患者様の費用負担は生じません。本研究に関するご質問等ございましたら、以下の連絡先まで問い合わせください。また、画像・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には、本研究対象外となりますので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、中部国際医療センター医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありません。

#### 研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び研究施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

#### 研究責任者

武井 啓晃

中部国際医療センター 脳神経外科

2024-2031

版数：第1版  
作成日：2024年8月17日

電話番号 0574-66-1100（代）